

主要産地における令和5年産水稻の生育状況等について 第2報 (令和5年6月2日取り纏め)

作成：公益社団法人米穀安定供給確保支援機構情報部 (令和5年6月2日)

道府県	生育状況等		(参考)	
	区分	育苗・田植進捗状況・生育状況等(自治体等公表資料の抜粋) 平年に対する遅速等		技術・防除・気象等関連公表資料(自治体、気象台等公表資料の抜粋)
北海道	(育苗・移植)	<p>【生育状況(5月15日現在)】</p> <p>(全道) 苗の生育は平年並で、出芽の良否はやや良。また、一部地域で移植作業が始まった。(北海道農政部 5月19日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月3日～7月2日】</p> <p>北海道地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁札幌管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】</p> <p>北海道地方の向こう3か月の平均気温は、ほぼ平年並の見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁札幌管区気象台)</p>	<p>・「なつぼし」及び「ゆめぴりか」を中心とする品種構成となっており、主要品種に大きな変化はみられない。</p> <p>(農林水産省 令和5年3月15日) (出典資料は以下同じ)</p>
青森	(移植)	<p>・5月25日現在の田植進捗状況は、県全体で86%となっており、平年より7ポイント高かった。</p> <p>・県全体の田植最盛期は、平年より1日早い5月20日であった。</p> <p>(青森県 5月26日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月3日～7月2日】</p> <p>東北地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】</p> <p>東北地方の向こう3か月の平均気温は、ほぼ平年並の見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台)</p>	<p>・「まっしぐら」及び「つがるロマン」を中心とする品種構成となっている。</p>
岩手	(移植)	<p>【5月18日現在】</p> <p>・5月18日現在の田植の進捗率は県全体で60%。平年に比べやや遅いペースだが、概ね適期での移植が進んでいる。</p> <p>・地帯別では、北上川下流71%、東部67%で盛期を過ぎ、今後終期を迎える見込み。また、北上川上流は42%でほぼ盛期に達しており、北部は16%で今後盛期を迎える見込み。</p> <p>・各地域とも、概ね適期内(5月25日まで)に終期(90%)を迎える見通し。</p> <p>(岩手県 5月19日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月3日～7月2日】</p> <p>東北地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】</p> <p>東北地方の向こう3か月の平均気温は、ほぼ平年並の見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台)</p>	<p>・「ひとめぼれ」及び「あきたこまち」を中心とする品種構成となっている。県のオリジナル品種である「釜川のしずく」が、耐冷性、耐湿性に優れていることから増加傾向となっている。</p>
宮城	(移植)	<p>【5月29日現在】</p> <p>・県全体の田植進捗率は98.7%となっている。なお、田植終期は5月23日であった。</p> <p>(宮城県 5月30日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月3日～7月2日】</p> <p>東北地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】</p> <p>東北地方の向こう3か月の平均気温は、ほぼ平年並の見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台)</p>	<p>・「ひとめぼれ」を中心とする品種構成となっている。</p>
秋田	(移植)	<p>(北秋田) 5月25日現在の作業進捗状況は、田植えが94.8% (平年80.0%)。(5月26日付)</p> <p>(雄勝) 田植え作業は平年より2日早い5月23日に盛期を迎えた。(5月26日付)</p> <p>(仙北) 田植え作業の終期は、平年より3～4日早く、5月27～28日頃になる見込み。「サキホコレ」の田植えは5月20日頃までにほぼ終了。(5月26日付)</p> <p>(秋田) 5月25日時点で、田植え作業は約85%終了。(5月26日付)</p> <p>(山本) 田植え作業は、平年より1日早い5月20日に盛期を迎えた。(5月26日付)</p> <p>(平鹿) 田植え作業は、平年より1日早く5月23日に盛期を迎えた。(5月26日付)</p> <p>(秋田県農林政策課)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月3日～7月2日】</p> <p>東北地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】</p> <p>東北地方の向こう3か月の平均気温は、ほぼ平年並の見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台)</p>	<p>・「あきたこまち」を中心とする品種構成となっている。新品種「雪若丸」は増加傾向にある。</p>
山形	(生育)	<p>【雪若丸】</p> <p>・田植え作業は順調に進み、良好なスタートを切った。</p> <p>・5月31日現在の生育は、草丈・葉数は平年並み、茎数は少ない状況。</p> <p>(山形「つや姫」「雪若丸」ブランド化戦略推進本部 山形おいしき極める!米づくりプロジェクト本部 5月31日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月3日～7月2日】</p> <p>東北地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】</p> <p>東北地方の向こう3か月の平均気温は、ほぼ平年並の見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台)</p>	<p>・「はえぬき」及び「つや姫」を中心とする品種構成となっている。新品種「雪若丸」は増加傾向にある。</p>
福島	(育苗)	<p>【5月9日現在】</p> <p>・移植栽培の播種作業は、始期(5%終了)が4月7日(平年差-2日)、盛期(50%終了)が4月16日(平年差±0日)、終期(95%終了)が4月24日(平年差-1日)となった。苗の生育は概ね順調。</p> <p>(福島県農林水産部農業振興課)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月3日～7月2日】</p> <p>東北地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】</p> <p>東北地方の向こう3か月の平均気温は、ほぼ平年並の見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台)</p>	<p>・「コシヒカリ」及び「ひとめぼれ」を中心とする品種構成となっている。近年、収量水準の高い「茨のつぶ」が増加しており、飼料米への転換が増加していることから比率はやや低下したものの、まだ増加が見込まれる。</p>
茨城	(生育)	<p>【5月29日現在、龍ヶ崎市】</p> <p>(4月27日移植) 主稈葉数の展開からみた生育</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「あきたこまち」及び「ふくまる SL」で平年より1日早く、「コシヒカリ」で2日遅い。</li> <li>・「あきたこまち」では、草丈はやや高く、茎数及び葉色は平年並である。</li> <li>・「ふくまる SL」では、草丈は平年並、茎数はやや多く、葉色はやや濃い。</li> <li>・「コシヒカリ」では、草丈はやや高く、茎数は平年並、葉色はやや濃い。</li> </ul> <p>(5月8日移植) 「コシヒカリ」主稈葉数の展開からみた生育</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平年より2日早い。草丈はやや低く、茎数はやや少なく、葉色は平年並である。</li> </ul> <p>(茨城県農業総合センター農業研究所水田利用研究室 5月31日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月3日～7月2日】</p> <p>関東甲信地方の向こう1か月の平均気温は、ほぼ平年並の見込み。降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁東京管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】</p> <p>関東甲信地方の向こう3か月の平均気温は平年並が高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁東京管区気象台)</p>	<p>・「コシヒカリ」及び「あきたこまち」を中心とする品種構成で、近年、多様な多収米への作付け移行が進んでいる。</p>

栃木		<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月3日～7月2日】 関東甲信地方の向こう1か月の平均気温は、ほぼ平年並の見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁東京管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 関東甲信地方の向こう3か月の平均気温は平年並か高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁東京管区気象台)</p>	<p>・「コンヒカリ」を中心とする品種構成となっている。なお、オリジナル品種「とちぎの星」が増加傾向にある。</p>
千葉	<p>【5月19日現在】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>育苗期間中の3月下旬から4月下旬にかけては、気温が高く、苗丈はやや長めに生育した。</li> <li>植付け後の4月下旬から断続的に風の強い日があり、葉先が痛むほ場が多くあった。また、5月7、8日の大雨により、かなり深水となったほ場が見られた。さらに、5月8日から低温になり初期生育が停滞した。その結果、全体的に草丈はやや短く、茎数が少なくなっている。</li> <li>なお、3月下旬～4月下旬にかけ気温が高かったため、スクミリンゴガイの活動が早まり、また、一部のほ場では、藻類や還元障害の発生がみられる。</li> </ul> <p>&lt;葉齢の進み(平年比)&gt; 「ふさおとめ(4月20日種)」並、「ふさこがね(4月20日種)」並、「コンヒカリ(4月20日種)」並、「コンヒカリ(5月1日種)」やや遅、「粒すけ(4月20日種)」並。 (千葉県 5月23日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月3日～7月2日】 関東甲信地方の向こう1か月の平均気温は、ほぼ平年並の見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁東京管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 関東甲信地方の向こう3か月の平均気温は平年並か高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁東京管区気象台)</p>	<p>・「コンヒカリ」及び「ふさこがね」を中心とする品種構成となっている。令和2年産から新品種「粒すけ」の本格栽培が開始</p>
新潟	<p>【5月30日現在】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「コンヒカリ」では指標値に比べ、草丈はやや長い、茎数は並、葉数の進みはやや早い状況。</li> <li>「新之助」では指標値に比べ、草丈は短い、茎数は並、葉数の進みはやや遅い状況。</li> <li>「こしいぶき」では指標値に比べ、草丈はやや短い、茎数はやや少ない、葉数の進みは並の状況。</li> </ul> <p>(新潟県 5月31日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月3日～7月2日】 北陸地方の向こう1か月の平均気温は平年並か高い見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁新潟地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 北陸地方の向こう3か月の平均気温は平年並か高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁新潟地方気象台)</p>	<p>・「コンヒカリ」及び「こしいぶき」を中心とする品種構成で、近年「コンヒカリ」が減少し、収量水準の高い「ゆきんず舞」「つきあかり」及び「みずほの輝き」が増加傾向にある。また、県では新品種「新之助」(晩生種)の作付拡大を推奨している。</p>
富山	<p>【5月30日現在】本田での生育状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「てんたくく」平年に比べ、草丈、茎数は並、葉齢は0.2葉遅れている。</li> <li>「コンヒカリ」平年に比べ、草丈、葉齢は並、茎数はやや多くなっている。</li> <li>「てんこもり」平年に比べ、草丈は並、茎数は少なく、葉齢は0.4葉遅れている。</li> <li>「富富富」近年に比べ、草丈、茎数は並、葉齢は0.3葉遅れている。</li> </ul> <p>(富山県 5月30日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月3日～7月2日】 北陸地方の向こう1か月の平均気温は平年並か高い見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁新潟地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 北陸地方の向こう3か月の平均気温は平年並か高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁新潟地方気象台)</p>	<p>・「コンヒカリ」を中心とする品種構成となっているものの、近年高温多湿が安定している「てんたくく」及び「てんこもり」県のトップブランドに位置づけている「富富富」が増加傾向にある。</p>
石川	<p>【5月29日現在】</p> <p>(草丈)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「コンヒカリ」は平年比66～128% (県平均104%、加賀：101%、能登：108%)と平年並み～やや長く、前年並み。</li> <li>「ゆめみづほ」は、平年比82～112% (県平均：101%、加賀：101%、能登：100%)と平年及び前年並み。</li> <li>「ひやくまん殺」は、近年比86～132% (県平均：107%、加賀：110%、能登103%)と近年と比べやや長く、前年と比べ長い。</li> </ul> <p>(茎数)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ほ場間による差が大きい傾向。</li> <li>「コンヒカリ」は平年比73～210% (県平均124%、加賀：136%、能登104%)と平年並み～多く、前年と比べ多い。</li> <li>「ゆめみづほ」は、平年比67～205% (県平均：117%、加賀：114%、能登：121%)と平年と比べやや多く、前年と比べ多い。</li> <li>「ひやくまん殺」は、近年比82%～177% (県平均：129%、加賀：137%、能登：117%)と近年と比べやや多い～多く、前年と比べ多い。</li> <li>田干しを実施していないほ場で藻や表層剥離の発生やガスによる下葉の黄化が見られるとともに、浅水管理を行っていないほ場で分けつの発生が遅れている。</li> </ul> <p>(石川県農林総合研究センター農業試験場 5月30日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月3日～7月2日】 北陸地方の向こう1か月の平均気温は平年並か高い見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁新潟地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 北陸地方の向こう3か月の平均気温は平年並か高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁新潟地方気象台)</p>	<p>・「コンヒカリ」及び「ゆめみづほ」を中心とする品種構成であるが、近年、県オリジナル新品種の「ひやくまん殺」が増加傾向にある。</p>
福井	<p>【5月24日現在】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「ハナエチゼン」移植後の低温など、悪条件となることがあったが、5月上旬から中旬の気温や日射量は比較的良好で、現在の水稲の生育は平年並となっている。</li> </ul> <p>(水田農業レベルアップ委員会技術普及部会 5月26日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月3日～7月2日】 北陸地方の向こう1か月の平均気温は平年並か高い見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁新潟地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 北陸地方の向こう3か月の平均気温は平年並か高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁新潟地方気象台)</p>	<p>・「コンヒカリ」及び「ハナエチゼン」を中心とする品種構成である。なお、新品種である「いちほまれ」が増加傾向にある。</p>
長野		<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月3日～7月2日】 関東甲信地方の向こう1か月の平均気温は、ほぼ平年並の見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁東京管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 関東甲信地方の向こう3か月の平均気温は平年並か高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁東京管区気象台)</p>	<p>・「コンヒカリ」及び「あきたこまち」を中心とする品種構成に大きな変化はない。県のオリジナル品種「風さやか」の導入を推進している。</p>
滋賀		<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月3日～7月2日】 近畿地方の向こう1か月の平均気温は、ほぼ平年並の見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁大阪管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 近畿地方の向こう3か月の平均気温は平年並か高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁大阪管区気象台)</p>	<p>・「コンヒカリ」、「キヌヒカリ」、「みずかがみ」及び「日本晴」を中心とする品種構成である。近年、高温多湿性に優れた「みずかがみ」の作付が推進されている。</p>

兵 庫		<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月3日～7月2日】 近畿地方の向こう1か月の平均気温は、ほぼ平年並の見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁大阪管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 近畿地方の向こう3か月の平均気温は平年並か高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁大阪管区気象台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「コシヒカリ」「ヒノヒカリ」「キヌヒカリ」及び「山田錦」を中心とする品種構成である。「きぬむすめ」の作付拡大を推進している。</li> </ul>
岡 山	<p>・中北部地帯の田植時期、生育概況は概ね平年並である。</p> <p>(生育) (岡山県 5月30日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月3日～7月2日】 中国地方の向こう1か月の平均気温は、ほぼ平年並の見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁広島地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 中国地方の向こう3か月の平均気温は平年並か高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁広島地方気象台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「アケボノ」、「きぬむすめ」、「コシヒカリ」「あきたこまち」及び「ヒノヒカリ」及び「きぬむすめ」を中心とする品種構成である。近年、「きぬむすめ」が増加傾向となっている。</li> </ul>
広 島		<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月3日～7月2日】 中国地方の向こう1か月の平均気温は、ほぼ平年並の見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁広島地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 中国地方の向こう3か月の平均気温は平年並か高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁広島地方気象台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「コシヒカリ」、「あきさかり」及び「ヒノヒカリ」を中心とする品種構成である。</li> </ul>
愛 媛		<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月3日～7月2日】 四国地方の向こう1か月の平均気温は、ほぼ平年並の見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁高松地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 四国地方の向こう3か月の平均気温は平年並か高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁高松地方気象台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ヒノヒカリ」「コシヒカリ」「あきたこまち」及び「にこまる」を中心とする品種構成に大きな変化はない。「ヒノヒカリ」から「にこまる」への品種変更が定着してきている。</li> </ul>
高 知	<p>【早期稲】(4月月報)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・移植の開始は、県中央部では平年よりも早い3月第4半旬、その他の地域は平年並の3月第6半旬であった。</li> <li>・移植盛期は平年並で、県中西部では4月第3半旬、その他の地域は4月第1～2半旬であったが、もみ枯菌の発生により、苗の供給遅れから移植が遅れたほ場や、移植後の生育が遅延したほ場が見られた。</li> <li>・4月第2半旬には低温と強風があったが、影響は軽微で、現在の生育は順調である。</li> </ul> <p>(高知県病害虫防除所 5月2日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月3日～7月2日】 四国地方の向こう1か月の平均気温は、ほぼ平年並の見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁高松地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 四国地方の向こう3か月の平均気温は平年並か高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁高松地方気象台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・早期栽培は「コシヒカリ」、普通栽培は「ヒノヒカリ」を中心とする品種構成に大きな変化はない。</li> </ul>
福 岡	<p>【5月16日現在】</p> <p>【早期水稲】(夢つくし、コシヒカリ)◇</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・早期水稲の田植えは平年並で、5月15日までに終了した(最盛期は4月下旬)。</li> <li>・平年並～やや高い気温で経過しており、活着は概ね順調。</li> </ul> <p>【普通期水稲】(夢つくし、元気つくし、ヒノヒカリなど)◇</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現在、6月上旬植え用の播種及び育苗作業が行われている。</li> <li>・田植えは、「夢つくし」で6月上旬、「元気つくし」で6月中旬、「ヒノヒカリ」で6月下旬を中心に行われる見込み。</li> </ul> <p>(福岡県農林業総合試験場 5月19日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月3日～7月2日】 九州北部地方の向こう1か月の平均気温は、ほぼ平年並の見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁福岡管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 九州北部地方の3か月の平均気温は平年並か高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁福岡管区気象台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ヒノヒカリ」「夢つくし」及び「元気つくし」を中心とする品種構成であるが、「元気つくし」が増加傾向となっている。県では「夢つくし」の拡大を推奨している。</li> </ul>
熊 本		<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月3日～7月2日】 九州北部地方の向こう1か月の平均気温は、ほぼ平年並の見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁福岡管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 九州北部地方の3か月の平均気温は平年並か高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁福岡管区気象台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ヒノヒカリ」「森のくまさん」及び「コシヒカリ」を中心とする品種構成である。「くまさんの隣き」はリーディング品種として取扱いが年々拡大している。</li> </ul>
宮 崎	<p>【作物の生育状況(5月中旬)】</p> <p>(生育)</p> <p>早期水稲は分けつ期。(宮崎県病害虫防除・肥料検査センター 5月24日)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月3日～7月2日】 九州南部地方の向こう1か月の平均気温は、ほぼ平年並の見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁鹿児島地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 九州南部地方の向こう3か月の平均気温は平年並か高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁鹿児島地方気象台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「コシヒカリ」及び「ヒノヒカリ」を中心とする品種構成に大きな変化はない。「み系358」への作付誘導が進められている。</li> </ul>
鹿 児 島		<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月3日～7月2日】 九州南部地方の向こう1か月の平均気温は、ほぼ平年並の見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁鹿児島地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 九州南部地方の向こう3か月の平均気温は平年並か高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁鹿児島地方気象台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・早期栽培は「コシヒカリ」、普通栽培は「ヒノヒカリ」を中心とする品種構成である。早期栽培では、収量水準の高い「なつほのか」への移行が急速に進んでいる。</li> </ul>

注1：国及び地方自治体、出先機関等がホームページで公表している資料を米穀機構情報部で取り纏め。  
注2：令和5年6月2日 14時時点での取り纏め。  
注3：更新箇所は赤字で示した。

引用資料:

農作物の生育状況 5月15日現在(北海道農政部 5月19日)、  
5月25日現在田植進捗状況(青森県「攻めの農林水産業」推進本部 5月26日)、  
田植の進捗状況(5月18日現在概況速報)について(岩手県農業普及技術課農業革新支援担当 5月19日)、  
生育状況報告(秋田県ホームページ「こまちチャンネル」<http://www.e-komachi.jp/> 6月2日閲覧)、  
令和5年産水稲の田植状況について(5月29日現在)(宮城県みやぎ米推進課生産販売班 5月30日)、  
雪若丸技術情報No.2(山形「つや姫」「雪若丸」ブランド化戦略推進本部 山形おいしき極める!米づくりプロジェクト本部 5月31日)、  
主要な農作物の生育情報令和5年度第2号(福島県農林水産部農業振興課)、  
農研速報(茨城県農業総合センター 農業研究所 5月31日)、  
水稲の生育と当面の対策第1報(千葉県農林水産部 5月23日)、  
水稲の生育と今後の管理対策(第3号)(新潟県 5月31日)、  
TACS情報第1号(富山県 5月30日)、  
水稲TACS情報(第1号)(富山県 5月25日)、  
令和5年産水稲の生育状況と今後の対策(水稲生育診断技術確立調査-2号)(石川県農林総合研究センター 5月30日)、  
稲作情報No.4(水田農業レベルアップ委員会技術普及部会 5月26日)、  
令和5年度病害虫発生予報第3号(岡山県 5月30日)、  
病害虫発生予察情報について(高知県病害虫防除所 5月2日)、  
福岡県の主な農作物の生産状況(福岡県農林業総合試験場 5月19日)、  
令和5年度病害虫発生予報第2号(宮崎県病害虫防除所・肥料検査センター 5月24日)、

北海道地方こう1か月の天候の見通し(6月1日札幌管区気象台)、東北地方こう1か月の天候の見通し(6月1日仙台管区気象台)、関東甲信地方こう1か月の天候の見通し(6月1日気象庁)、  
北陸地方こう1か月の天候の見通し(6月1日新潟地方気象台)、近畿地方こう1か月の天候の見通し(6月1日大阪管区気象台)、中国地方こう1か月の天候の見通し(6月1日広島地方気象台)、  
四国地方こう1か月の天候の見通し(6月1日高松地方気象台)、九州北部地方こう1か月の天候の見通し(6月1日福岡管区気象台)、  
九州南部・奄美地方こう1か月の天候の見通し(6月1日鹿児島地方気象台)、

北海道地方こう3か月の天候の見通し(5月23日札幌管区気象台)、東北地方こう3か月の天候の見通し(5月23日仙台管区気象台)、関東甲信地方こう3か月の天候の見通し(5月23日気象庁)  
北陸地方こう3か月の天候の見通し(5月23日新潟地方気象台)、近畿地方こう3か月の天候の見通し(5月23日大阪管区気象台)、中国地方こう3か月の天候の見通し(5月23日広島地方気象台)、  
四国地方こう3か月の天候の見通し(5月23日高松地方気象台)、九州北部地方こう3か月の天候の見通し(5月23日福岡管区気象台)、  
九州南部・奄美地方こう3か月の天候の見通し(5月23日鹿児島地方気象台)、

令和5年産水稲の10a当たり平年収量に係る生産事情(都道府県別)(農林水産省 3月15日)